

◆自由投稿コーナー◆

みんなの広場

今、南公園の花菖蒲は・・・

南公園花菖蒲を守る会
高橋 俊子



今年開花した菖蒲

でも、以前のようにたくさん花を咲かせたいという思いが日に日に大きくなり、今では炎天下の草取りも苦にならず楽しんで作業をしています。

今年6月には努力の甲斐があり、いくつかの花が開花し、以前の菖蒲田に近づきボランティア活動にも力が湧いてきました。また、散歩で訪れる方々に「きれいなりましたね」「がんばってください」と声をかけていただき、来年は近隣の水元公園に勝るくらいの花を咲かせようと、皆がんばっております。でも、まだまだ人手不足です。

年齢、性別は問いませんので、ぜひ自然に親しみ土と触れ合い、気持ちの良い汗を流し、そして私たちと一緒に花菖蒲を育ててみませんか。毎週土曜日、朝8時から作業をしていますので、お気軽に声を掛けてください。

連絡先 小島 ☎995・0410、高橋 ☎997・0986

花菖蒲は日本に自生する植物から日本人独自の観賞眼で選ばれてきた園芸植物で、江戸時代から積極的に数多くの品種が作られてきました。その花姿には各地の土地柄や気候風土が反映され、現在日本では五千五百あまりの品種が登録されています。このように古くから日本人に愛され親しまれている花菖蒲が八潮市南公園の一角にもあります。以前は6月開花の時期には満開の花が咲き、訪れる人々を楽しませてくれました。しかし、大切に手入れをしてくださっていた方が他界して雑草田になってしまい、そんな雑草田を以前のように菖蒲の花で満開にしたという思いから、昨年4月、何人かの人たちで「南公園花菖蒲を守る会」を立ち上げました。始めのころは、あまりにも広い菖蒲田と、何年も手入れをしていかなかった雑草との戦いでした。



手入れ作業に汗を流している会員

おいしいね この水未来に いつまでも 《第51回水道週間スローガン》



6月7日、第51回水道週間《6月1日～6月7日》に合わせて、市の中央浄水場で見学会などが開催され、35人の方が来場しました。

来場者は、浄水場の配水タンクや配水ポンプなどの説明を受け「このようにして水道水が私たちの家に送られているんですね」と初めて見る施設に感心していました。そのほか、利き水や井戸水をくみ上げる昔のポンプなどを体験し、お帰りの際には、市推奨草花のマリーゴールドなどが来場者に配布されました。

三百数十年の歴史 大瀬の獅子舞



7月1日・2日、大瀬の浅間・氷川神社の祭礼に獅子舞が奉納されました。

大瀬の獅子舞は、寛文2年(1662)に森川下総守が、大瀬村の領主になった頃、獅子頭を領主より拝領してから始まったと伝えられており、三百数十年の歴史があります。埼玉県指定民俗文化財にも指定されており、多くの見学者が、大獅子、中獅子、女獅子の豪壮な舞と哀調をこめた囃子笛の音色に魅了されていました。

まちづくり条例の制定を目指して!



6月21日、八潮メセナで「まちづくり条例を考える市民フォーラム」が開催されました。市民フォーラムでは、(仮称)八潮市まちづくり条例の全体構成(素案)について発表するとともに、市の重要課題である「住居と産業が共生するまちづくり」「緑と農を活かしたまちづくり」「八潮駅周辺のまちづくり」の3つのテーマについてワークショップが行われました。約70人の参加者は、将来のまちづくりについて、それぞれの想いを熱心に語っていました。

さくらんぼひろば開設1周年!



6月25日、「さくらんぼひろば(子育て支援ひろば)」が開設1周年を迎えました。

「さくらんぼひろば」は、おおむね3歳未満の児童と保護者の子育て親子が気軽に集い交流するための場として、昨年開設され、これまでに6千人を超える方々に利用されています。当日は、手遊び、紙芝居を楽しんだ後、担当の職員から手作りの七夕飾りがプレゼントされ、親子の笑顔があふれていました。

いきいきやしお写真館

この広報紙は、再生紙と大豆油インクを使用しています。

◆広報やしおは、毎月1回、10日(新聞休刊日を除く)に新聞折り込みで配布しています。届いてない世帯の方は、最寄りの公共施設、金融機関、市内10カ所のコンビニエンスストア、八潮駅などでお受け取りになれます。なお、次回の新聞折り込みは、8月10日(月)です。